

公益社団法人米沢有為会
興讓館寄宿舍OB会
通信 第2号(2017.10)

編集・発行
公益社団法人米沢有為会興讓館寄宿舍OB会
〒182-0004 東京都調布市入間町 1-36
東京興讓館内
連絡先 nkanno@wonder.ocn.ne.jp
会員名に続く()内は、寄宿舍名と入舎年

米沢有為会本部の新体制
～舎生 OB 多数が参画して発足～

米沢有為会が公益社団法人に移行して第4回定時総会が、6月24日(土)、米沢・伝国の杜において開催され、新しい理事及び監事を選任、引き続き理事会で会長・副会長の互選が行われて、米沢有為会本部の新体制が、次のとおり、発足しました。任期2年。

◆名誉会長 上杉邦憲 ◆会長(代表理事) 大滝則忠(東39) ◆副会長(同) 平山英三 ◆理事 [総務部長] 加藤国雄(東39)、[育英事業部長] 伊藤和夫(仙40)、[地域振興部長] 種村信次、[文化広報部長] 手塚宮雄(仙41)、青木恵子、甲國信(仙37)、川合勝雄(東41)、五雲寺卓、佐藤憲一(東44)、鈴木吉助、鈴木幸一、宮坂孝夫(東42) ◆監事 伊藤秀太郎(東43)、菅野憲幸(東42) ◆興讓館長 [東京] 川合勝雄(東41)、[仙台] 滝口政彦(仙40)
＜下線が舎生OB＞

この新体制で、再来年に創立130周年を迎える時期の米沢有為会のビジョンと活動計画を取りまとめる検討から始めています。よろしくご鞭撻とご協力をお願いします。
(大滝 則忠)

興讓館寄宿舍OB会の総会

11月18日(土) 15時～18時
会場：主婦会館プラザエフ (四ツ谷駅前)

＜特別寄稿＞

寄宿舍70年の歩みを編んで

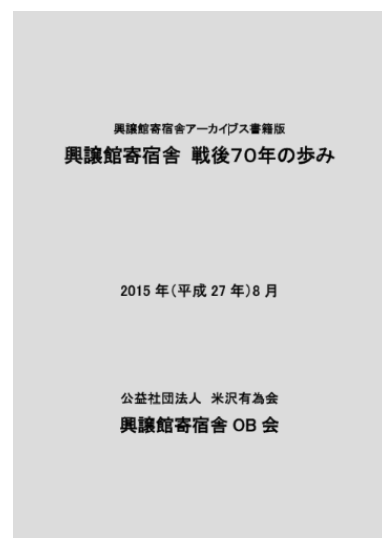
樋口 正宏 (東37)

歴史には語り継ぐ歴史もあれば、書き繋ぐ歴史もあります。昨年、舎生OB会発足25周年記念事業として「興讓館寄宿舍戦後70年の歩み」を編纂しましたが、その編集にかかわることとなり、米沢有為会会誌に記載された「興讓館だより」を、昭和24年から平成26年までのおよそ70年分を初めて読み通してみました。文頭の感想はその時に読みながら実感したことです。

「興讓館だより」として毎年各興讓館寮から寄稿された記事の量は、1年毎では僅かではありますが、70年を積み重ねること何と450頁もの長編となりました。紛れもなくこれは戦後の興讓館寄宿舍の舎史です。その特徴は筆者の全てがその時々在舎していた舎生で、二十歳を出たばかりの若者ということです。筆者数は延べ173名にも及び、まさに糸を紡ぐように450頁を書き繋いだということになります。

時代により場所により、あるいは筆者の置かれた環境により、描き様はさまざまですが、学生固有の感性のようなものは深い所で相通じているように感じます。舎生相互の交流の状況や諸行事の様子、そして寄宿舍を構成するハードとソフトの実情を、当時の社会情勢にも触れながら若者らしい文章で描かれています。

また、どの年度の興讓館だよりも、その年に在籍していた舎生の氏名が記載されており、懐かしい名前を目にしたときなどは、その活字の向こうに当時の顔かたちまでが浮き出てくるから不思議です。



- ★ご参加をお待ちしております。
- ★返信ハガキに、近況をお書きください。
- ★お差し支えなければ、この『通信』誌上でご紹介させていただきます(次号は1月刊)。

この「興譲館寄宿舍アーカイブス書籍版 戦後70年の歩み」は、米沢有為会のホームページにアクセスしてインターネット上でも閲覧できますので是非ご覧いただきたいと思ひます。また、米沢有為会会員の皆様にも目を通していただき、育英事業考察の一助になれば幸甚です。(前興譲館寄宿舍 OB 会幹事長)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

東京興譲館寮の現況 (記載順不同)

※	1年	2年	3年	4年	院生	合計
学年別	8	2	5	7	2	24
<在学別> 青山学院(教育人間科学)、慶応義塾(商)、国学院(文)、国士館(文)、駒沢(仏教)、首都大学東京(都市環境)、城西(理)、城西国際(メディア)、専修(人間科学)、高千穂(商)、玉川(教)、中央 2(経済・法)、東京外語 2(言語文化・国際社会)、東京(理 I)、二松学舎(文)、法政 2(社会・文)、明治(商)、早稲田 2(先進理工・法)／早稲田大学院 2(政・文)						
<出身高校別> 米沢興譲館 10・米沢東・米沢工業・米沢中央・南陽・基督教独立学園／山形東 2・山形中央・山形南・山形市立商業・日大山形／高卒認定試験・開智・昌平 <出身自治体別> 米沢市 10・南陽市 2・高島町・川西町／山形市 5・寒河江市・鶴岡市／帯広市・越谷市・さいたま市						

仙台興譲館寮の現況 (記載順不同)

※	1年	2年	3年	4年	研究生	合計
学年別	4	6	4	0	1	15
<在学別> 東北 8(工 3・経 2・法・文・歯学)、東北福祉 3(教育・総合マネジメント・健康科学)、東北工業(工)、東北文化学園(医療福祉)、東京 IT 会計専門学校／東北(工研究生)						
<出身高校別> 米沢興譲館 11・米沢東 2・米沢工業・置賜農業 <出身自治体別> 米沢市 10・南陽市・高島町 2・川西町 2						

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

会員消息 (敬称略)

本欄へ情報をお寄せください!

福崎 進 (東 43) ご無沙汰しております。寮時代から現在に至るまで皆様とお付き合いさせていただき感謝しております。60歳でリタイアし、その後、家内の会社(ジーエスデザイン(株))で設計等の業務をしておりましたが、65歳を過ぎてからは自分の時間を大切にしたいことから、今までなかなか出来ま

かった山登り、ゴルフ、養蜂業等で楽しんでいます。昨年は蜜蜂がクマにやられ全滅しました。今年は知人の養蜂を手伝いながら 100%の蜂蜜を楽しんでいます。 [米沢市在住]

酒井龍太 (東 H13。東京工科大学メディア学部メディア学科卒) 私は平成13年から平成17年まで東京興譲館寄宿舍に在籍していました。現在は地元米沢で家業であるサカキ写真館を継ぎ、カメラマンとして日々地域のために汗をかいております。寄宿舍を出てから12年も経つと在籍していた頃を懐かしく思い出します。米沢にいらっしゃる方は昔話をしに是非遊びに来て下さいね。 [米沢市在住]

★米沢で芋煮会 9月30日ホテルモントビュー米沢を会場にして、米沢有為会米沢支部の主催で開催され、舎生OBの10名以上が参加した。第1部の講演会で、大滝則忠会長(東39)により「米沢有為会と置賜人脈」と題して、鉄道王根津嘉一郎による大正11年の旧制武蔵高等学校創立に際し、川西町玉庭出身の本間則忠が事務一切を担い、米沢有為会の平田東助・伊東忠太・佐野利器等、置賜人脈の貢献があったことが、米沢有為会の人的交流の良き伝統の一例として紹介された。第2部は芋煮会、賑やかに世代を超えた交流が行われた。(米沢支部長・本多和彦)

★前号掲載のガリ版刷の東京興譲館寮誌『嚳標 みおつくし』創刊号探しは、早速のご通報のお蔭で見ることができました。ただいまデジタル化しており、次号で詳細をご案内いたします。(事務局)

運営協力金 よろしくお願ひします

多くの会員各位から、運営協力金 年2千円のご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

郵便振込み口座 00110-6-725587
興譲館寄宿舍OB会

事務局から

会員相互のコミュニケーション紙です。会員消息、各種趣味、ライフワークで取組み中の内容等々、ご寄稿をお待ちしています。 幹事長 菅野憲幸(東42)

電話 03-3727-5990

Eメール nkanno@wonder.ocn.ne.jp

この『通信』は、米沢有為会ホームページで閲覧できます

<http://www.yonezawa-yuukai.org/>

トップページ>「育英・文化事業」>「興譲館寄宿舍OB会」